

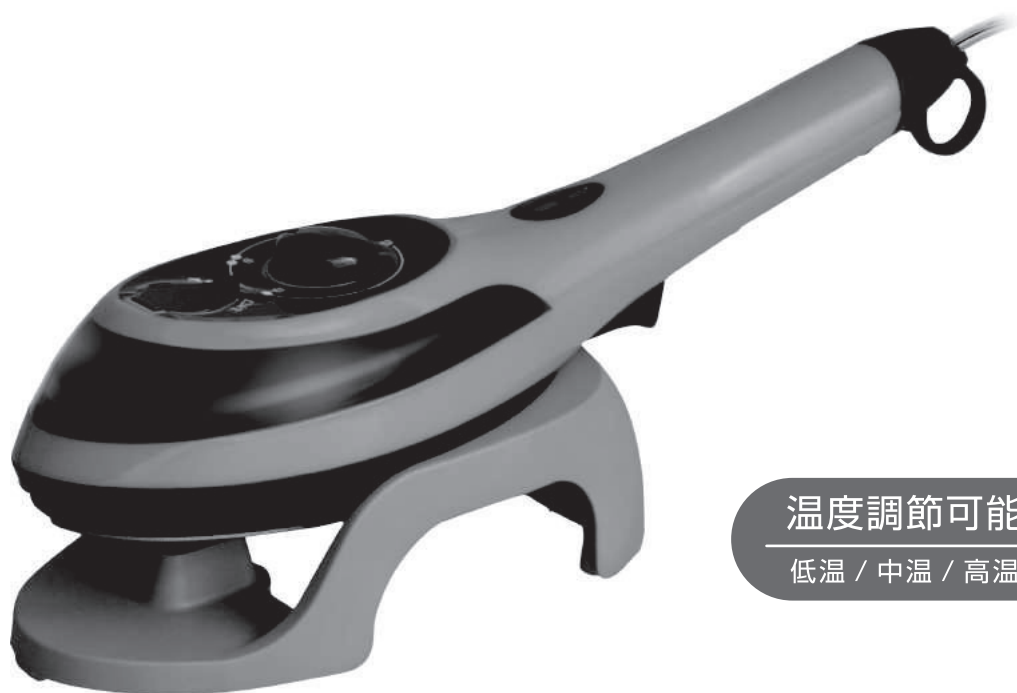
型番：LHR-601

ONLife

i スチーマー・ハンディアイロン

取扱説明書

スチーマーとアイロンの1台2役
急なお出かけ前の
シワ伸ばしなどにも大活躍!



温度調節可能

低温 / 中温 / 高温

- このたびは本品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解いただいた上で安全に正しくご使用ください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

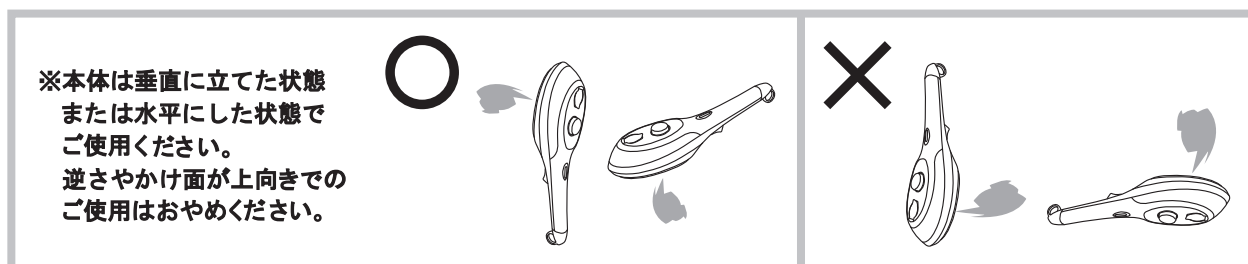
使用上の注意とお願い

●初めてのお使いになるときは

- 最初の数分間、臭いや水滴、水蒸気が出ることがありますが、異常ではありません。ご使用と共になくなります。
- タンクの内部に水滴が付いている場合がありますが、製品検査によるものであり、異常ではありません。

●お願い

- 汚れや洗剤が洗濯物に残っている場合は、熱を加えると衣類が変色することがあります。よくすすぎ乾かしてからアイロンをかけてください。
- スチーム噴出時に白い粉が出ることがありますが、水に含まれる鉱物質で異常ではありません。
万が一衣類に付いた場合は、払っていただくと取れます。
- 使用中、「カチツ」と内部から音がする場合がありますが、自動温度調節器（サーモスタット）が作動している音で異常ではありません。
- ボタン、フック、ファスナーなど固いものには、直接かけないでください。
- アイロンかけのときは、アイロン台から製品をはみ出さないに注意してください。









繊維製品の取り扱いとご使用の目安

本製品は「ドライアイロン」「スチーマー」としてお使いいただけます。

| | |
|---------|--|
| ドライアイロン | アイロン台を使用してスチームを使用しないでアイロンがけします。ワイシャツの襟や袖のノリづけに |
| スチーマー | 衣類をハンガーに掛けながらスチームとかけ面を使い仕上げます。ちょっとした洗いジワや座りジワに |

衣類に日本工業規格（JIS）で定められた絵表示がある場合は、以下の表を参考にしてください。

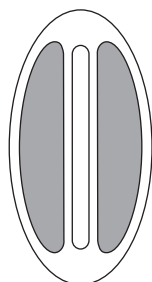
| 絵表示 |  低 |  中 |  高 |
|----------|---|---|---|
| 布地・繊維の種類 | アクリル・アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン | 絹・毛・ナイロン・ビニロン レーヨン(長繊維) キュプラ・アセテート ポリエステル | 綿・麻 レーヨン(短繊維) ポリノジック |

| | | |
|-------------|---|------------------------|
| 絵表示の 見かた |  | 指定された温度であて布をする意味です。 |
| |  | 指定された温度で布地の裏からかける意味です。 |
| |  | アイロンかけはできません。 |
| | その他「スチーム禁止」などの表示がある場合は必ずその指示に従ってください。 | |

- 絵表示がある場合、絵表示に合わせてください。
- 絵表示のない場合、繊維名に従い温度を合わせてください。
混紡の場合、低いほうの繊維温度に合わせてください。
- 熱に弱い繊維（絹・毛・化繊など）は、あて布をするか、目立たない部分にためしかけをして異常がないことを確認してください。
- 極端にゆっくり動かしたり、アイロンを止めたりすると、布地に合った温度であっても布地を傷つけることがありますので、ご注意ください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンかけをしないでください。

付属品

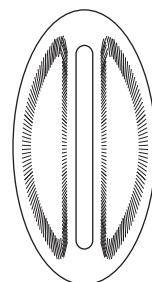
①



毛玉ブラシ
アタッチメント

ほこりや小さなゴミを取るときに使います。

②



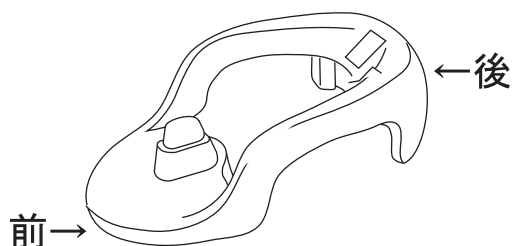
毛ブラシ
アタッチメント

糸くずや大きなゴミを取ったり、繊維の流れを整えたりする時に使います。

用途にあわせてブラシを取り付けます

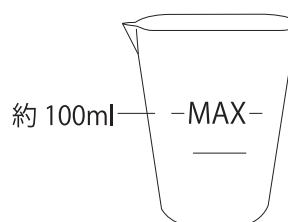
毛玉ブラシアタッチメント：スチーマー使用時小さなゴミを取るときに使います。

毛ブラシアタッチメント：スチーマー使用時カーテン、ソファ、糸くずや大きなゴミを取るときに使います。



専用スタンド

通電後に本体を置く場合は必ずこの専用スタンドに置いてください。



計量カップ

蛇口から本体タンクに直接給水せず、必ず計量カップを使用して給水してください。



お手入れブラシ

毛ブラシと毛玉ブラシのお手入れに使用します。

ご使用方法



注意

※使用不可な布 革製品や人工皮革製品、特殊加工品、スチームで傷む恐れのある絹や着物等には使用しないで下さい。

スチームアイロンを使用する

- ウール素材やセーター等のシワを伸ばしふわっと仕上げたい時に
- プリーツスカートやズボンの折目に

- ①タンクへ水を注ぎます。(一回目に入れる水はカップのMAXラインまで入れます。)
- ②温度ダイヤルをスチーム(中温～高温)に合わせます。⇒ランプが点灯します。
- ③ランプが消えたら使用できます。

●約5cm布から離し、スチームボタンを押してスチームを衣類にあて、かけ面で撫でながらシワを伸ばしてください。

●約3～5秒間隔でスチームボタンを押してスチームを出してください。

●ご使用後は、ダイヤルを「切」にして、プラグをコンセントから抜いてください。

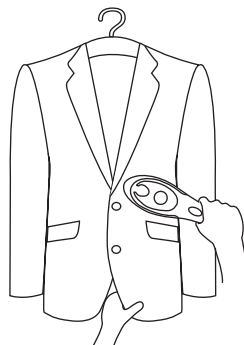
●水がなくなった場合は、一度ダイヤルを「切」に回し、プラグをコンセントから抜いて注水して下さい。

※必ず目立たないところで、試してからご使用ください。

※ウールやカシミア等の起毛性衣類にかけ面を近づけて使用すると、

毛並みが乱れて変色したように見えてしまいますので、ご注意ください。

※頑固なシワには、生地を引っ張りながらスチームをあてるとシワがとれやすくなります。



約5cm布から離し、スチームを衣類にあて生地を引っ張り、撫でながらシワを伸ばしてください。

こんな時!?

| | |
|-----------------|--|
| スチームがでない。 | スチームボタンを押してもスチームが出ない場合は、タンクに水を満タンにして給水カバーをしっかりと閉めてください。本体を上下左右に4～5回振り、再度スチームボタンを3～4回押してください。 |
| 排水した際、湯滴・水が漏れる。 | タンクに残った水を捨てる際は、完全に本体が冷めた事を確認し、給水カバーから排水してください。 |

※【スチームを出す際の注意】スチームを出す際は、約3～5秒間隔でスチームボタンを押してください。ランプが点灯している時や3秒間隔よりも早くスチームボタンを操作すると、湯滴が出て火傷や衣類を汚す原因となりますのでご注意ください。

※使用中のアイロンを布地の上に放置しないでください。火災の原因となります。また焦げや布地を傷める原因となります。

※始めてご使用の際にスチームに独特のおいがある場合がありますが、製品に問題は有りません。ご使用を重ねることでおいは解消されます。

※スチームと一緒に白い粉が吹き出る場合がありますが、これは水に含まれる成分です。本体の異常では有りません。衣類に付いた場合は、払って落としてください。

ドライアイロンを使用する

- 綿や麻素材のシワをとる時に
- 合成繊維等に

- ①プラグをコンセントに差し込みます。
- ②温度ダイヤルを回すと通電しランプが点灯します。※使用する際繊維に合わせて温度設定を行ってください。
- ③ランプが消えたら使用できます。

●アイロンを水平に滑らせて、衣類のシワを伸ばしてください。

●ご使用後は、ダイヤルを「切」にして、プラグをコンセントから抜いてください。

※使用中のアイロンを生地の上に放置しないでください。火災の原因、また焦げや生地を傷める原因となります。

※繊維にあった温度に合わせてください。

※ボタン・フック・ファスナー等の固い物に直接アイロンを掛けしないで下さい。かけ面を傷つける原因となります。

※ドライアイロンを使用する際は、タンクに水を入れる必要は有りません。

※高温から低音に変える場合は、一度ダイヤルを「切」にし、本体を冷ましてから変えて下さい。

※必ず目立たないところで、試してからご使用ください。

